

# かげほし



南葉高原キャンプ場

## 目次

### 特集

- 定例会だけじゃない！  
上越市議会の取組を紹介します！ ..... 2

### 6月定例会

- 令和3年度一般会計補正予算など36議案を審議 ..... 4  
常任委員会の審査 ..... 5  
討論・意見書・審議結果・賛否一覧 ..... 9  
ここが聞きたい！一般質問 ..... 11  
議員勉強会を開催 ..... 18  
議会報告会・意見交換会を開催、議員表彰 ..... 19  
本会議や委員会の傍聴にお越しく下さい！ ..... 20

無料アプリ



マチイロ

で議会だより配信中！

この無料アプリをダウンロードして登録すると、議会だより発行日にお知らせが届き、いつでもどこでもスマートフォンやタブレットなどで議会だよりを読むことができます。ぜひご利用ください。



←アプリのDLはこちらから

※アプリのダウンロードや利用は無料ですが、通信費は利用者の負担となります。

# 上越市議会の取組を紹介します！

## 上越市議会基本条例の検証

上越市議会基本条例では、条例の目的が達成されているかどうかを定期的に検証するものとされており、平成24年、28年の2度の検証に続き、令和2年7月に議会基本条例検証委員会を設置し、3度目の検証を行いました。

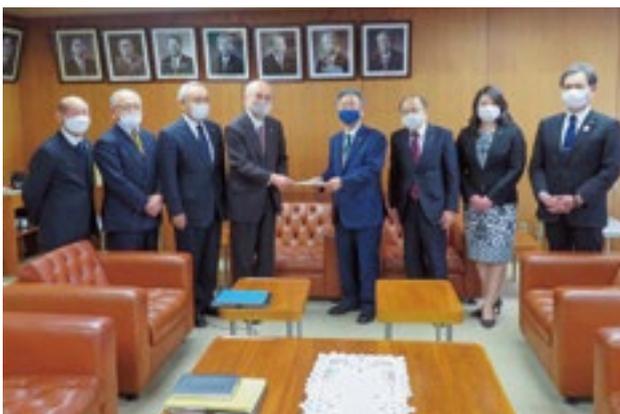
詳細は  
こちら



CHECK!

### ～ 議会基本条例とは ～

地方議会運営の基本原則を定めた、地方議会の最高規範である条例です。上越市議会では、平成21年5月に「議会基本条例策定検討委員会」を設置し、1年半に及ぶ協議・検討の結果、平成22年11月に「上越市議会基本条例」を制定しました。



議会基本条例検証委員会では、11回の会議を開催し、精力的かつ慎重に検証を行いました。

令和2年12月には検証結果をまとめ、議長に対し逐条解説の修正を含む中間報告を行いました。また、引き続き、検証の過程で抽出した課題を整理・分析し、上越市議会の取組の方向性として委員会の提言を取りまとめ、令和3年4月に議長に答申を行いました。

### 提言 1

議会改革に当たっては、市民の意見や社会情勢の変化等を踏まえ、議会の果たす役割を検証することが重要である。2年ごとの改選を目安に、議会が取り組むべき改革の方針を決定し、適切な議会改革検討組織を設置するようにすること。

### 提言 2

テーマを設定した意見交換を行う時間を設けたり、定例的な開催という形にとらわれず特定のテーマに絞った議会報告会を開催する等、市民の関心をより高め市民参画を促進するための議会報告会・意見交換会等の在り方を検討すること。

### 提言 3

各委員会において、委員は事前勉強を十分にし、資料で不明な点や事実関係の確認を要する点があれば各自で事前に調査し、会議では政策立案及び政策提言に向けて委員間討議を行うよう努めること。



おおむね1年ごとを目途に、各取組の進捗状況を管理していきます！

# 特集

# 定例会だけじゃない！

## 各層との意見交換会を開催

市議会では、様々な世代や団体の方々と常任委員会でテーマを設定した意見交換を実施しており、いただいたご意見の一部を紹介します。いただいたご意見は、委員会審議や一般質問など今後の議会活動にいかしていきます。

詳細は  
こちら



### ～ 上越市防災士会 × 総務常任委員会 ～



- ・町内会長が防災士をどう活用するかが大きな課題である。まずは町内会長に防災士を理解してもらうことが大切。議員には、双方をつなぐ役割をお願いしたい。
- ・空き家が多く、積雪により危険を感じた。今後も大雪時に対応に悩むことがないよう、空き家対策等を考えてほしい。
- ・町内会長と防災士を兼任していると、どうしても町内会長の仕事が優先される。いかに住民の防災意識を高めていくかが大切だと考えている。

### ～ 上越医師会 × 厚生常任委員会 ～



- ・将来、上越市の人口が減少する場合に医師をどのように配置するか考える必要がある。
- ・認知症や精神障害をお持ちの方に対する医療サポートを行ってはどうか。
- ・病院に対して状況を聞き、医師不足への対策についてアドバイスするなど支援してはどうか。
- ・上越で開業する医師を増やすという観点でも、住み良いまち・住みたくなるような魅力的なまちづくりをしてほしい。また、開業費の補助があればPRできるのではないか。

### ～ 上越青年会議所等 × 文教経済常任委員会 ～



- ・若手が少なく存続が危うい商工会青年部もある。
- ・様々な業種で人材不足が課題となっている。介護職は、仕事はあるが人がおらず大変な状況である。市からも力添えをしてほしい。
- ・市内で求人が集まらなければ、県外からのIターン者の求人も良いのでは。Iターン者や採用した企業に対する補助金があれば良い。
- ・米本陣が閉館となり、寂しいという声も聞こえる。コミュニティスペースや子どもたちが遊ぶスペースなど施設を活用できないか。

## 6月定例会

# 令和3年度一般会計補正予算など36議案を審議

6月定例会は6月7日から21日まで、15日間の会期で開催されました。

令和3年度一般会計補正予算をはじめとする、市長から提案された議案を全て可決、同意しました。また、議員発議により「上越市議会会議規則の一部改正」、「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書」を可決しました。（議案と審議結果については10ページをご覧ください。）



### 総括質疑

総括質疑は、市長が提出した議案に対して案件の概要と疑問点を解明するために行われます。今定例会では、公明党、日本共産党議員団が総括質疑を行いました。

#### 大雪等による被災 復旧工事の判断は



昨冬の大雪やその後の融雪等により被災した公共施設等の復旧工事に関する補正予算が提案されました。

問／大雪や融雪等により被災した施設や市道等について、復旧工事を行うか否かの判断はどのような基準で行ったのか。

答／被災施設や市道等の復旧は、一部に最低限の修繕とする場合などもあるが、原則として現状復旧を行うこととしている。公共施設については、利用者から安心してご利用いただくとともに、農地、農業用施設は営農の継続性を保ち、市道等においては、通行の安全性を確保するため、早急な復旧に努める。



融雪による市道の被災状況  
(右)市道三の輪台幹線  
(左)市道高住丹原線



#### 押印手続きの見直しで 市民の負担軽減を



行政手続きにおける市民の負担軽減を図るため、申請書等における押印手続きを見直します。

※関連記事5ページ

問／暫定的な措置として「署名又は記名押印の選択・併用の採用を認める」としているが、その方式を採用した趣旨は何か。

答／本人の署名で押印を不要とする様式は、具体的には、奨学金の貸付けに係る誓約書など、本人の意思を明確に確認する場合や、市道改良工事に伴う境界立会いにおける隣接地権者の同意書など、申請者以外の第三者の意思を確認する場合などにおいて、このような取扱いとした。

### カレンダー



- ▼6月7日（本会議）
  - ・市長による提案説明
  - ・総括質疑（2人）
- ▼6月8日～11日（委員会）
  - ・4常任委員会
- ▼6月14日～17日（本会議）
  - ・一般質問（22人）
- ▼6月21日（本会議）
  - ・4常任委員長報告
  - ・討論（1人）
  - ・採決（36件）＝可決等



総務

市政の運営方針や、財務、防災、総合事務所に関することなど、広範な議案等を審査しています。

注目!

条例改正による  
固定資産税の  
重税感の緩和は？

■上越市市税条例等の一部改正について

条例の主な改正内容

軽自動車税のグリーン化特例の一部及び個人市民税の住宅借入金等特別控除特例の延長、個人市民税の非課税判定に用いる扶養親族の範囲の見直し等を行います。



**問**／今の経済実態から、固定資産税に重税感があるという声を聞くが、今回の改正で緩和されるのか。  
**答**／土地、家屋の評価額は3年に1回、見直しを行っているが、改正により、据置年度でも地価が下落した場合は下落修正を行うことができる措置を延長する。また、令和3年度はコロナの特例によつて基本的に税金が上がらない制度を設けているため、重税感は緩和されていると考えている。



**問**／衆議院議員の総選挙が令和3年10月10日投開票となった場合、任期満了に伴う上越市長選挙及び上越市議会議員補欠選挙を前倒して行うことは法令上可能なのか。  
**答**／市長の任期満了日前の30日の間で投開票を行う必要があり、法令上前倒しは可能である。

市長選・議員補欠選  
衆院選に伴う前倒しは

■令和3年度一般会計補正予算(第1号)

行政手続きの押印廃止  
市民への周知は

■上越市固定資産評価審査委員会条例等の一部改正について

**問**／個人は、署名又は記名押印の選択・併用制の採用を認めるのに対し、法人や団体は記名押印を原則としており、複雑で混乱のおそれがあるが、どのような市民周知を考えているか。  
**答**／広報上越やホームページで周知を行うほか、窓口へ手続きに来られた方に詳しく説明を行っていききたい。



行政手続きにおいて押印を求めていた様式が1、707様式ある中で、押印を廃止する様式が948様式、署名又は記名押印の方式へ変更する様式が641様式であり、全体の93.1%に当たる1、589様式の見直しが行われました。

■押印の見直し結果

(令和3年5月20日現在)

区分	様式の数	割合(%)
対象となる様式	1,707	100
押印を見直す様式	1,589	93.1
うち 廃止(記名で可)	948	—
" 署名又は記名押印の方式へ変更	641	—
押印を継続する様式	118	6.9
うち 法人や団体のみを対象とする様式	105	—
" 印鑑自体を登録・確認する様式	7	—
" 実印と印鑑証明書を求める手続き	6	—

(参考)

- ・署名：氏名を手書き(自署)すること。
- ・記名：パソコンでの印字、他人による代筆、ゴム印などにより氏名を記すこと。

厚生

健康づくりや多種の福祉施策、環境保全など市民に身近な議案等を審査しています。

注目!

## 低所得の子育て世帯へ生活支援特別給付金の速やかな支給を

### 子育て世帯生活支援特別給付金

国が新型コロナウイルス感染症対策予備費を活用し、所得の少ない子育て世帯への生活支援特別給付金を支給することを受け、支給対象者に対し、速やかに給付金を支給するため、必要な経費を増額します。

#### ■専決処分した事件の承認について (令和3年度一般会計補正予算(専第1号))

**問** 住民税非課税の子育て世帯については、令和3年度分の課税情報が6月以降に判明し、給付金の支給は7月以降になるとのことだが、令和2年度の課税情報で先行して支給できなかったのか。

**答** 国の方針に基づくものであり、制度の中で少しでも早く支給できるように調整している。また、困っている方については他の福祉制度につなげるといった支援を行っている。



#### ■実施内容

##### (1) 支給対象者

	世帯数	児童数
① 所得の少ないひとり親世帯		
ア 令和3年4月分の児童扶養手当の支給を受けている方	1,132	1,680人
イ 公的年金等を受給していることにより、令和3年4月分の児童扶養手当の支給を受けていない方（児童扶養手当に係る支給制限限度額を下回る方に限る）	約100	約250人
ウ 令和3年4月分の児童扶養手当は受給していないが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準となっている方	約250	約350人
② ①以外の住民税非課税の子育て世帯	約1,500	約2,640人

##### (2) 支給額

児童1人当たり一律5万円

※対象児童は、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童（障害児の場合は20歳未満）

■上越市国民健康保険税条例及び上越市介護保険条例の一部改正について

#### 国保等の減免

#### 国への働きかけは

令和2年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対し、国民健康保険税及び介護保険料の減免を行います。

**問** 国民健康保険税と介護保険料の減免について、国による財政支援が10分の2から10分の4になるとのことだが、本来は国が面倒を見るべきものであり、国に対してどう働きかけているのか。

**答** 全国知事会で国による全額の財政支援を要望しているが、市としてもこうした支援が必要なことについてはこれまで要望しており、引き続き行っていきたい。

農政建設

農林水産業や道路の建設・管理、ガス・上下水道事業等インフラ整備に関する議案等を審査しています。

克雪住宅推進費

新潟県が令和3年度から実施する「新潟県命綱固定アンカー普及促進事業」にあわせ、住宅等に命綱固定アンカーや転落防止柵などを設置する費用の補助制度を創設します。



単管型のアンカー

命綱固定アンカー設置費用補助 予算不足の可能性は

注目!

令和3年度一般会計補正予算(第1号)

問/屋根雪下ろし命綱固定アンカーの設置費用補助について、昨冬の豪雪状況から予算が不足することが考えられるが、その場合は補正予算を組むのか。
答/他市の事例を参考に、補助件数を70件と見込んだ。今後、申請が見込みを上回った場合は、増額補正する。

令和3年度一般会計補正予算(第1号)

ため池の応急処置 水を確保できないか?

融雪期に発生した地すべりに伴い被災した農地、農業用施設について、国の公共災害復旧事業の災害査定を受けるため、地質調査及び測量設計に要する経費を増額します。

問/被災したため池の応急処置を行い、水を確保するようできないか。
答/応急処置では地すべりを助長するおそれがある。地元の方と相談し、ため池を使わない前提で田植えを進めてもらっており、今後の調査の中で工夫できるところを検討していきたい。

財産の取得について

除雪オペレーター不足 地元企業との意見交換は?

問/国土交通省では除雪オペレーターの担い手不足解消のために、一人乗り仕様の除雪グレーダーを調査、研究しているが、今回の導入に当たり、地元企業やメーカーと意見交換は行ったのか。
答/一人乗り仕様が望ましいという話がある一方、安全確保の面で二人体制が必要との声も大きい。作業中の安全を確保した上で、一人オペレーターも視野に入れていかなければならないと考えている。



牧区桜滝地内の地すべりの被災状況



清里区梨平地内の地すべりの被災状況



文教  
経済

商工業、観光業などに関する経済施策や、小中学校に関する議案等を審査しています。

注目!

# 柿崎屋内水泳プール 公の施設の適正配置計画で 在り方を検討すべきでは？



柿崎プールのガラス屋根破損状況

## ■令和3年度一般会計補正予算（第1号）

### 体育施設整備事業

昨冬の大雪で柿崎屋内水泳プールの屋根が損傷したことから、復旧工事等に係る実施設計委託料を増額します。

**問**／公の施設の適正配置計画では、柿崎屋内水泳プールは現状維持とされしており、この施設単独で考えれば大きな修繕が必要だと思うが、全体の計画の中において在り方を検討する必要があるのではないか。

**答**／施設を当面使用する上で、最低限必要な修繕で対応したいと考えている。周辺にも老朽化している施設があるが、地域の需要に合わせて、適切に全体の整備を進めていきたい。



令和3年6月に工事着工、令和4年4月に開館予定

■工事請負契約の締結について

### 上越市総合体育館 要望に沿った工事が

**問**／上越市総合体育館の利用者や利用団体からの意見や要望に応える形での工事となっているのか。

**答**／トイレや空調など、全ての要望に応える方向で設計を行っている。

■財産の取得について

### 圧雪車の規格 選定した理由は

**問**／取得から16年が経過したキューピットバレイスキー場の圧雪車について、車体の老朽化により当初の能力を発揮できなくなっていることから、圧雪車を更新し円滑なゲレンデ整備体制を整えます。

■令和3年度一般会計補正予算（第1号）

### うみてらす名立 修繕工事はいつ行うのか

**問**／昨冬の大雪や強風により、うみてらす名立の屋内プール及び地場物産館の屋根が損傷したことから、修繕工事に係る経費を増額します。

**問**／うみてらす名立の修繕工事はいつ行うのか。また、今年のプールの営業に影響はないのか。

**答**／プールの屋根工事は今期のプール営業が終わってから取りかかる予定である。地場物産館の屋根工事は議決後すぐに作業に入る。いずれも降雪時期前には完了したいと考えている。屋根は雨風が入り込む部分があるが、営業に支障はないと考えている。

**問**／圧雪車の規格をケースボーラー社製とした理由は何か。また、耐用年数はどのくらいか。

**答**／令和元年度に購入した圧雪車と同機種であり、部品や修繕内容の共有が可能である。現在使用している圧雪車は、取得から16年が経過し、稼働時間が7、600時間となっているが、メーカー推奨の稼働時間は7、000時間である。

市長提出議案に対する討論

定例会最終日の6月21日、議案に対して賛成か反対かの意見を表明する討論と全議案の採決が行われました。

反対の立場で

〈日本共産党議員団〉

都市計画道路黒井藤野新田線の戸野目川に係る橋梁の新設工事は、落札した事業者しか応札していない「一者入札」であった。競争性・公平性に疑義を生じさせる一者入札は、厳正な対処をすべきであることから、議案第55号に反対する。



意見書を可決

意見書は、国会または関係行政庁に対し、議会の意思を表明するものです。

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度 2分の1復元に関する意見書

子どもたち一人ひとりが大切にされ、豊かな人間関係の中で教育がおこなわれることは保護者・地域住民・教職員共通の願いであり、豊かな教育を保障することは極めて重要である。教育水準が維持・向上されるよう、30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを強く要望する。



人事案件に同意

■教育委員会委員の任命

小林 晃彦氏(新任)

■公平委員会委員の選任

森 直樹氏(再任)

■固定資産評価審査委員会委員の選任

吉田 彩子氏(新任)

■人権擁護委員候補者の推薦

面山 工三氏(再任)  
 小山田 得雄氏(再任)  
 井上 文代氏(再任)  
 池田 美幸氏(再任)  
 金胎 芳子氏(新任)



全会一致で可決し、議会の意思として国会・関係行政庁に提出しました。

# 審議結果一覧

◎は全会一致、○は賛成多数

議案等番号	件名	審議結果	議案等番号	件名	審議結果	
予算	45 令和3年度上越市一般会計補正予算(第1号)	◎	61	財産の取得について(除雪ドーザ16t級)	◎	
	46 " 水道事業会計補正予算(第1号)	◎		62	" (除雪ドーザ11t級)	◎
条例	47 上越市固定資産評価審査委員会条例等の一部改正について	◎	その他	63	" (除雪ドーザ11t級)	◎
	48 上越市手数料条例の一部改正について	◎		64	" (小形除雪車1.3m級)	◎
	49 上越市市税条例等の一部改正について	◎		65	" (小形除雪車1.3m級)	◎
	50 上越市国民健康保険税条例及び上越市介護保険条例の一部改正について	◎		66	" (圧雪車)	◎
その他	51 字の変更について(県営農地環境整備事業 上岡地区)	◎	報告	67	損害賠償の額の決定及び和解について(国府1丁目地内 物損事故)	◎
	52 " (県営農地環境整備事業 宇津保地区)	◎		68	" (遊光寺浜地内 物損事故)	◎
	53 工事請負契約の締結について(上越市総合体育館等大規模改修 工事)	◎	報告	2	専決処分した事件の承認について(上越市市税条例及び上越市都市計画税条例の一部改正について)	◎
	54 " (上越市総合体育館等大規模改修機械設備 工事)	◎		3	" (令和3年度上越市一般会計補正予算(専第1号))	◎
	55 " (橋梁新設(上部工) 工事)	○		1	上越市教育委員会委員の任命について	◎
	56 財産の取得について(都市計画道路黒井藤野新田線道路用地)	◎	同意	2	上越市公平委員会委員の選任について	◎
	57 " (ロータリ除雪車)	◎		3	上越市固定資産評価審査委員会委員の選任について	◎
	58 " (ロータリ除雪車)	◎		諮問	1~5	人権擁護委員候補者の推薦について
	59 " (ロータリ除雪車)	◎	発議		1	上越市議会会議規則の一部改正について
	60 " (除雪ドーザ16t級)	◎		2	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書の提出について	◎

# 議員の賛否一覧

賛否が分かれるなどした表の網掛けの議案の賛否等を公表します。

議案等番号	議決結果	合計		みらい					創風					輝			日本共産党議員団			公明党	市民クラブ	会派に属さない議員													
		賛成	反対	ストラットン慶喜子	高橋浩輔	高山ゆう子	中土井かおる	宮川大樹	本山正人	石田裕一	波多野一夫	小山ようこ	宮崎朋子	池田尚江	大島洋一	江口修一	武藤正信	鈴木めぐみ	橋本洋一	小林和孝	滝沢一成	栗田英明	平良木哲也	上野公悦	橋爪法一	山田忠晴	杉田勝典	牧田正樹	こんどう彰治	安田佳世	宮越馨	丸山章	渡邊隆	飯塚義隆	
55	可決	27	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※ ○は賛成、●は反対。なお、議長(飯塚義隆)は採決には加わらない。



田中聡議員が令和3年4月30日に急逝されました。田中議員は、平成24年4月に上越市議会議員に初当選し、三期9年の長きにわたり務められました。この間、広報広聴委員会委員長、文教経済常任委員会委員長、人口減少問題調査対策特別委員会副委員長、新幹線・並行在来線等対策特別委員会副委員長などを歴任し、上越市の発展のために邁進されました。ここに哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

**田中聡議員  
ご逝去**

ここが聞きたい！

# 一般質問



議員が市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。

今定例会では22人が質問しました。

※本文は質問者が執筆したものを編集しました。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会ホームページにあるその議員の一般質問の動画が視聴できます。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります)



上越市産材の  
安定供給体制の構築を  
杉田 勝典（公明党）



**問**／輸入木材の高騰をチャンスと捉え、上越市産材の安定供給体制の構築を目指すべきでは。  
**答**／計画的な供給に向け、地域産材の使用に努めるとともに、生産体制の強化のため高性能林業機械の導入やドローンを用いたスマート農業の試験的導入も進めているが、林地への作業道建設や森林所有者との交渉、木材加工工場が小規模である等の課題もあり、急な増産は難しい。

## 孤独や孤立の解決に向けて

**問**／当市の孤立対策の取組はどうか。また、市と市民団体とのつながりや市民団体同士のつながりが解決への後押しになるのではないか。  
**答**／地域包括支援センターでは民生委員や町内会長、介護・福祉の専門職らと支援が必要な個人や家族への見守りや声掛け等を実践している。NPOをはじめ、様々な市民団体の力をお借りし、連携しながら、引き続き、孤立しない、させない環境づくりに努めていく。

## ドローンの有効活用で地域課題の解決へ

**問**／地域課題解決のため、職員によるドローンを活用したプロジェクトチームを結成しては。  
**答**／広報や農業分野、プログラミング教育等で活用している。部局間で情報共有を図り、ドローンの更なる活用を検討していく。



夏に雪対策を確認します！  
滝沢 一成（輝）



**問**／令和3年3月定例会において、1月の豪雪災害を踏まえ、雪対策へ様々な検討等を行うと約束した。町内会との連携や支援制度、生活道路・歩道除雪、一斉屋根雪下ろし、適切な情報発信など、改善に向けてどう動いているのか。  
**答**／理事を中心に、防災危機管理部を核に検証チームを組織し全庁的に検証作業を進めている。町内会との連携は、全町内会長へ書面による調査を実施し、除雪作業の意向や要望等を把握し、支援制度について検討する。また、「除雪事業者への聞き取り調査」で、昨冬の除雪の課題などを把握している。今後、町内会を中心に意見交換を行い、除雪路線区分の検証、地域の除雪の課題などについて認識の共有を図る。歩道除雪は、車道と歩道の除雪事業者の統一を図り、除雪路線や除雪延長の見直しを行う。一斉雪下ろしの実施期間を、平日を含めた期間とし、分散的・段階的に雪下ろしを実施することで、下ろし手を確保しやすい環境づくりを検討する。

大雪は、市民生活や社会経済活動にも影響した。停電被害対応や災害対策本部の体制も含め、全国的に検証し次への備えとしたい。

**問**／いつ頃その全容が分かるのか。

**答**／7月上旬に中間報告をまとめ、関係機関等と検討を重ね、10月下旬の除雪計画の公表時に最終的に報告したい。



### 消防団員の報酬アップは

橋本 洋一 (橋)



問／総務省から消防団員の年額報酬や出動報酬等を令和3年度中に見直し、条例改正や予算措置を行うよう通知されているが、上越市の現状と見直しの予定はどうか。

答／総務省の通知では、団員の年額報酬を3万6、500円（上越市2万1、900円）、出動報酬を災害一日当たり8、000円（上越市2、000円）を標準とし、令和4年4月1日から適用できるように条例改正



や予算措置を行うよう求めている。消防団の運営に係る経費は、国からの地方交付税措置があるものの、令和2年度実績では実団員数3、818人に対し、半数の1、909人分にとどまり、十分な財政措置が得られていない状況にある。直ちに通知のとおり報酬額を引き上げることが困難と考えるが、消防団の運営経費の財源確保のため、地方交付税の算定方法の見直しについて引き続き国に要望するとともに、消防団とも十分協議しながら報酬の在り方について検討していく。



### 高田の「な」。雁木の維持・保存と活用を！

高橋 浩輔 (みん)



問／雁木に関する意向調査では、9割の住民が雁木の保存活動が必要と回答しているが、一方で雁木の総延長の縮小が止まらない。この現状をどう捉えているか。

答／雁木や町家の魅力や価値は、そこに住む人の暮らしがあつてこそ維持され高まる。雁木の街並みの保存・活用に向けては地域コミュニティの維持など、まちが抱える課題そのものへの対応が求められると認識し、取組を行っている。

問／市が「雁木の保存宣言」を行うことにより、市民に対して、雁木を残していくという意思表示を明確にすべきではないか。

答／雁木の保存はその成り立ちから、市民の自発性を尊重すべきものと捉えており、市が主導する宣言はなじまないと考える。

問／雁木保存の主体である市民の意識と機運を高めるため、「歴史まちづくり法」に基づく「歴史的風致維持向上計画」を作成し、国の認定を目指してはどうか。

答／認定を受けるには、核となる国指定文化財とそれを取り巻く市街地、行われてきた伝統的な取組が必要。高田の場合は、高田城跡が県指定文化財であることや市街地の特性等から適用は難しい。街なか居住推進等も絡めて、市民主体の雁木保存活用の取組を今後も支援していく。



### 子どもが孤立せず笑顔で暮らせる社会に！

中井 かおる (みん)



問／当市における子どもの心の相談状況は。

答／令和2年度は、すこやかに暮らし包括支援センターに277件の相談が寄せられ、専門職による保護者への聞き取りや子どもの話の傾聴、適切なサービスへつなぐ等、役割をいかした支援をしている。また、パンフレットを学校に配布し子どもへ相談に関する周知を図っている。

### 学校での福祉教育の推進を！

問／共生社会の推進に向け、子どもが障がいのある人と交流することが重要と考える。そのような福祉教育を進めていく考えはあるか。

答／市内の7割の小・中学校で、高齢者や障がいのある人と触れ合う活動を行っている。こうした活動は、共生社会の素地を学ぶことにつながると考えている。

### 要支援者も安心できる避難体制づくりを！

問／災害時の、地域の要配慮者に対する個別避難計画作成に福祉専門職の参加が有効では。

答／要配慮者ごとの個別避難計画の作成率は、昨年度末で97%である。作成に当たり、福祉専門職は関わっていないが、関係機関と連携を行い、町内会ベースで取り組んでいる。今後も一人一人の安全が守られる地域づくりに取り組む。





熱中症対策に取り組もう！

山田 忠晴 (公明党)



問／当市の熱中症対策に関する市民への注意喚起の取組について聞きたい。

答／広報上越やホームページ等で、気温が高くなる時には「こまめに水分補給する」、「暑い場所での長時間の作業は避ける」といった熱中症予防のポイントを周知している。

問／公共施設における冷水機の設置計画は。

答／多くの公の施設を有する当市では、まずは、市民の皆さんから快適にご利用いただくための空調設備の維持管理を行っていくこととしており、利用者ご自身による水分や塩分補給といったソフト面での対策を引き続き促していく。

### 「ヤングケアラー」の現状と今後の取組

問／当市におけるヤングケアラーの実態と現状をどのように分析しているか。また、「上越市地域青少年育成会議」と連携し、ヤングケアラーの早期発見と支援に取り組む考えはないか。

答／現在はヤングケアラーとしての悩みを抱えている児童生徒の報告は無いが、県が令和3年度内を行う県内の中高生への実態調査の結果を注視し、必要に応じて対策を講じる。また、「上越市地域青少年育成会議」をはじめとする地域の関係組織に協力を依頼するなどの対応を講じて、ヤングケアラーの早期発見、適切な支援につなげていきたい。



介護職員が足りない。確保策の強化を！

牧田 正樹 (市民クラブ)



問／特別養護老人ホームの入所、待機状況は。

答／令和2年4月時点で定員1、694人に対し1、650人が入所している。待機者は797人いたが、入所の優先度が高い人は比較的早い段階から入所可能となっている。

問／職員不足を理由に特養が稼働できない状況はないか。人材確保策の課題と対策はどうか。

答／令和3年4月時点で市内全ての特養で職員数が確保され、平均稼働率は96%である。今後、介護の専門学校と連携し、継続就労セミナーへの協力等人材の確保、育成策の検討も進めたい。

問／勤務時間前のミーティングや業務日誌の記録、1日の残業時間の端数切捨て等の実態がある。施設に対し、改善の指導ができないか。

答／監査や普段の情報交換の中で話をしていく。

### ヤングケアラーに対する支援を

問／ヤングケアラーの実態把握と対応状況、早期発見・課題解決への方策はどうか。

答／現在実態把握は行っていないが、日常的なアンケートで悩みの把握に努めている。県が令和3年度に中高生対象の調査を行うため、その結果を注視する。今後も関係機関や市民への啓発活動に力を入れる。また、関係者間の情報共有や連携強化を図り、早期発見、支援につなげ、子どもたちのすこやかな育ちを確保していく。



業務委託の重要性と委託業者への配慮は

石田 裕一 (みづの)



問／年度当初から開始する業務の見積合せについて、内定者以外の業者への連絡と、見積提出締切後14日程度よりも早く結果を示すことが必要と考える。見積業者への配慮はどうか。

答／公共施設の管理業務やごみ収集業務など毎年4月1日から開始する業務委託は約3、000件あり、年度当初に契約を締結する必要があるため、前年度中に見積合せで内定者を決定し、新年度予算議決を経て契約締結している。内定者以外の方でも問合せがあれば、その都度結果を答えているため、改めて周知に努める。

### 支援を求める外部団体への対応は

問／市は共催・後援を申請した団体への支援は協力してくれるが、それ以外の協力依頼は厳しく、部署や人によっても対応が違う。支援や協力を求める外部団体への対応を聞きたい。

答／共催・後援を承認した事業はポスターやチラシの配布等に協力してきしたが、未承認事業は、配布を市が行うことに関する配布先団体等の受け止め方も様々であり、団体等の負担を考慮し、原則的にお断りしている。



「上越市教育委員会」が後援となり、「第15回いきいき春日野・ふれあいコンサート」は盛況で、「いきいき春日野」主催の地域活動を支援



政策決定は丁寧な説明で  
1人でも多く合意を  
宮川 大樹(みやくわ たけし)



問／県が事業主体で上越市に建設予定の広域最終処分場の4次選定が先般発表され、茶屋ヶ原1か所、柿崎区竹鼻・下中山付近の3か所、同区下小野1か所の計5か所の候補地が示された。県は、この中から最終的な候補地を決めたいとしているが、市はどのように関わっていくのか。

答／県では、令和3年4月から候補地の町内会及び町内会長連絡協議会、地域協議会への説明会を開催しており、市としては、引き続き、より多くの方々からご理解をいただけるよう、県と議論を重ねながら、取組を支援していきたい。

問／保倉川放水路について、関川流域委員会では令和3年3月に頸城区下三分一から夷浜を通る西側ルートが決定した。保倉川放水路の進捗について聞きたい。

答／保倉川流域の治水安全度の向上は、喫緊の課題として、地域の皆様と丁寧な話し合いを重ねながら、国に対して一刻も早い事業化を強く働きかけるとともに、国・県と連携しながら放水路整備に伴う「まちづくり」に取り組む。

問／四・九の市における出店場所の集約の経緯はどうか。

答／出店者数の減少を受け、市場の活性化と来場者の利便性向上を図るため、上越朝市組合と共に関係する町内会や出店者の方々と市の三者で協議し決定した。



マイナンバーカード  
普及の先にある近未来  
ストラットン 恵美子(すたるとん めいこ)



問／国が導入した「マイナンバー事業」の申請受付期間延長により、市内の申請は進んだか。

答／制度が始まった平成28年1月から令和元年度末までの申請率は13%であったのに対し、令和2年度はその2・3倍の30・6%に急増した。

問／今後のマイナンバーカードの利用促進は。

答／上越市ICTによる情報化推進基本方針の策定を目指し、現在検討を重ねている。オンラインでの本人認証は、利用者目線に立ったシステム設計になるよう配慮する。

**国際社会に向け、幼児期から英語に触れる！**

問／幼児に対する歌や絵本の読み聞かせなどの英語言語による情操教育普及への見解はどうか。

答／市が運営する保育園・幼稚園に関して現時点では導入を考えていない。幼稚園や保育園の管理・運営団体や関係機関と情報共有しながら、普及の可能性について調査・研究していく。

問／市独自で小学校低学年からフォニックス等の英語教育を取り入れる意向はないか。

答／英語の音声に触れる機会を設けられるよう取り組んでいる。今後も英語に慣れ親しむ機会を拡充していく。

※フォニックス：英語において綴字と発音との間に規則性を明示し、正しい読み方の学習を容易にさせる方法の一つ。英語圏で主に使われる教育法



公のスポーツ施設の  
整備はいかに  
いとうい 彰治(いとうい しょうじ)



問／新野球場建設の計画はどうなっているのか。

答／令和5年度に向けて検討し、上越市公の施設の適正配置計画へも掲載する。

問／高田城址公園陸上競技場西側スタンドの今後の整備計画はどうか。

答／次期総合計画や財政計画などの策定時に合わせて検討する。

問／やぶの川辺公園内にソフトボール場を整備する考えは無いか。

答／新たな施設の建設の必要性を含め検討する。

**金谷山公園に新たなスポーツ施設等の整備を**

問／金谷山公園内にクロスカントリーコースやマウンテンバイクコースの整備をする考えは。

答／整備する考えは現時点で持ち合わせていない。各種団体がクロスカントリー等の大会やイベントの開催を検討される時には、協力したい。

問／儀明川ダムの将来の本体工事着手時に、ダムの展望も望める観光ルートを整備する考えは。

答／具体的な構想等は持ち合わせていない。

**昨冬の豪雪災害の検証は**

問／狭隘道路や生活道路への支援制度の検討は。

答／町内会長への調査結果を基に検討を進める。

問／市と県の歩道除雪出動基準を統一しては。

答／国・県と連携し通学路の安全確保に努める。



**市民の交通安全に対する意識を高めるために**  
 小山 ようこ (創風)



**問**／自転車利用者に損害賠償保険への加入を義務付ける動きが加速している。当市ではどうか。  
**答**／当市における自転車損害賠償保険の加入促進に向けた取組として、小中学校で実施している自転車交通安全教室や毎年5月の自転車安全月間の取組などにおいて、自転車事故での高額損害賠償事例を紹介し、自転車利用者の損害賠償保険加入の重要性について普及啓発に努めている。自転車損害賠償保険の加入を市民の皆さんに義務付けるのではなく、保険加入の重要性についての普及啓発活動を継続し、加入を促進していく。



**GIGAスクールの進捗状況は**

**問**／令和3年4月から小中学校で始まったGIGAスクールの取組の進捗状況はどうか。  
**答**／現在、ほとんどの学校において児童生徒に対しクラウドや端末の利用に不可欠なパスワードの適切な管理について指導し、使用を開始している。  
**問**／今後の端末の入替えと廃棄のサイクルは。  
**答**／他の学校ICT機器と同様、6年間の利用を見込んでおり、必要に応じて修繕等を行い、適切に管理していく。現時点では更新の時期や方法などは未定。導入時同様、国へ財政支援を要望するなど、財源の確保に努める。



**若手社員定着支援事業の方向性は**  
 宮崎 朋子 (創風)



**問**／新潟県における新規学卒就労者のうち、3年以内の離職率は35・5%となっている。若手社員定着支援事業に6年間取り組んできた中で課題と今後の方向性をどう考えているか。  
**答**／新入社員向け等のセミナーを開催しており、これまでに162社、925人が参加し、アンケートによれば離職率が減少するなど一定の効果がみられ、若者の就労意識の変化を感じている。市としては、従来の事業に加えインターンシップやワークライフバランスの実践など、国や県、商工団体とともに地域における雇用の安定・確保に取り組んでいきたい。

**昨冬の大雪災害の経験を次にいかす制度提案**

**問**／万が一に備え、農業版BCP（事業継続計画書）の周知と、民間事業者（サービスマスター）の駐車場等への条件付き除排雪補助制度や融雪設備工事費補助制度などを望むがどうか。  
**答**／近年の台風や異常高温などを考えると、農業版BCPは有効と考える。関係各所と連携し、周知していく。また、民間事業者の駐車場等は自己の所有物という観点から補助制度創設は難しいと考えるが、自然災害など、多くの企業の経営が懸念されるような事態が発生した場合には、その状況を的確に把握し、迅速かつ実情に応じた支援をしていく。



**保倉川放水路整備と、まちづくりの動向は**  
 波多野 一夫 (みん)



**問**／保倉川放水路整備の今後の具体的なルートの提示や全体的なスケジュール等の見直しは。  
**答**／本年3月に、地域の西側を通る概略ルートが決定した段階であり、現時点では具体的に示されていないが、引き続き、国において関川水系河川整備計画の変更に向けた手続きが進められるとともに、放水路計画をより具現化するための調査・設計が実施されると聞いている。  
**問**／以前から放水路整備と併せ、地域のまちづくり構想の提示が必要不可欠と訴えてきた。現在どこまで進んでいるのか。  
**答**／良好な水辺空間と一体となったまちづくりを推進することが極めて重要と認識しているが、現時点において放水路整備による周囲への影響範囲が不確定であることから、具体的な検討作業には至っていない。今後、国による放水路計画の具体化に合わせて、地域の皆様と丁寧な話し合いを重ねながら検討していく。





こども食堂等に  
スピード感を持った支援を  
鈴木 めぐみ(輝)



問／コロナ禍で子どもの貧困が加速していると指摘されている。市内の直近の児童扶養手当の受給者数はどうか。また、こども食堂等にスピード感を持った支援が必要と考えるがどうか。

答／当市における児童扶養手当の対象世帯等は、令和3年5月時点で1、144世帯である。こども食堂等への支援については、運営されているこども食堂に参加し、イベントの実施などに協力を行っているほか、開設を目指す団体に対し、開設に必要な手続の確認や食材の調達に向けたフードバンクとの橋渡しなど、立ち上げに向けた支援を行っている。



**空き家等の適正管理 市の方針は**

問／令和3年4月に、第2期上越市空き家等対策計画が策定されたが、適切な管理がされていない空き家等の解消に向け、市としてどのような政策方針で取り組んでいくのか。

答／新たに予防の視点を加え、継続した空き家対策の取組を進めている。市では、取組の継続と強化に向けて、町内会を通じた「予防」の啓発、空き家情報バンクの拡充、管理不全空き家等の所有者への行政指導における「面談」の実施など、きめ細やかに取組を進めている。



UPZ圏内自治体への  
事前了解権は  
上野 公悦(日本共産党議員団)



問／原発5〜30km圏内(UPZ)の超党派議員で構成する議員研究会は、圏内住民へのアンケート調査を行うと同時に、圏内自治体に事前了解権や適切な措置要求などの権限を加えた新協定案を策定した。これについてどう思うか。

答／議員研究会のアンケートの起点は、東電の安全意識が低いという、当市も参加する研究会と同じ思いであったと受け止めている。実際の再稼働に当たっては、知事が各自治体の意向を取りまとめ、意思表示を行うこととしているので、実質的に同様の権限を有している。

**信越本線犀潟駅南口の開設 市の対応は**

問／犀潟駅南口の開設は、関係住民の長年の要望事項である。JRに対する市の働きかけは。

答／JRと協議を行ったが、「自らが主体となつて整備を行う考えはない」との回答を受けており、この考えを変えるまでには至らなかった。

**コロナ禍のオリンピック開催をどう考えるか**

問／オリンピックの開催とドイツ体操チームの受入れや交流事業についてどう考えているか。

答／万全の感染症対策が行われた上で安全な大会が行われることを期待している。ドイツチームの事前合宿は7月に行われる予定で調整している。市民の安全最優先で取り組んでいく。



子どもたちにきちんと  
着替える場所を  
高山 めい子(あのみ)



問／小中学校における男女同室着替えについて、国は15年前に「同室着替えは非常識であり児童生徒に羞恥心や戸惑いを感じさせる恐れが大きい」として教育委員会に適切な対応と改善を求めてきたが、当市における実態はどうか。

答／小学校48校中、4年生以上は全ての学校で別室着替えを行っている。中学校は22校中、7校が別室、15校は男女同室で着替えているが、制服の下に体操着を着ていて着脱を行っている。問／制服の下に体操着を着ていれば男女同室でも構わないと考えるのか。



答／国の通知どおり別室が望ましいが、体操着を下に着ていて制服を着脱している実態がある。

問／大人が勝手にそれで良いと思いついで汗処理し、部活後も用具庫等で着替えている。汗のまま着替えない子もいる現状をどう思うか。

答／更衣室を整備するには制約がある。

問／これから水泳も始まる。子どもたちは更衣室で着替える権利がある。子どもの心と体の成長を無視せず、臨時部屋を用意し早急に対応すべきと考えるがどうか。

答／心情問題は深刻なこと。学校の実態を確認し適切に対応するよう改善指導していきたい。





保倉川放水路の  
整備促進を  
大島 洋一（創風）



**問**／放水路整備の最近の取組と今後の見込みは。  
**答**／令和3年3月に概略ルートが決定し、今後、関川水系河川整備計画の変更に向けた手続や放水路計画を具体化するための調査・設計が実施される。

**問**／スピード感ある放水路整備には、先祖伝来の土地を離れる住民への丁寧な説明が必要であり、また、海や川、放水路で東西南北全てが囲まれ、放水路で八千浦砂丘が切れて危険が増し、東へも避難しにくくなるこの地域の住民に、万全の津波対策をすることが必要と思うがどうか。  
**答**／地域住民にはより丁寧に細やかな説明が大切と認識している。また、万全の津波対策を講じる必要がある。国も、津波に係るシミュレーションを実施し、ソフト面を含めて関係機関と調整し対応する。必要な対策を国に働きかける。

**豪雪対策は**

**問**／除雪オペレーターの不足に対応したICT化やGPSの高精度化、除雪機械力の革新を図り、「21世紀の豪雪対策」を進める考えはないか。  
**答**／担い手確保は大きな問題で、国、県、市で担い手確保協議会を設立し検討する。市は「除雪支援システム実証モデル事業」を実施する。また、自動化、省力化を進めつつ、安全性、機能性、操作性の改善に努める。



なおえつ つみまちアート  
の進捗状況は  
安田 佳世（無所属）



**問**／8月1日から始まる「なおえつ つみまちアート」の進捗状況と周知の取組はどうか。

**答**／船見公園周辺、直江津屋台会館、ライオン像のある館、安国寺通りの空き店舗の4つの会場で現代アートの作品展示を行うことを決定した。ホームページやチラシ等で周知を図り、地域との協議や働き掛けを進めていく。

**問**／新型コロナウイルス感染症の対策はどうか。

**答**／首都圏在住の作家等が市民と対面する場合には、事前のPCR検査により陰性を確認している。全国の感染状況に鑑み、県外への積極的なPRは行わず、県内を中心に来訪いただくことを想定している。展示会場においても消毒や換気、入館時の記名などで感染対策を徹底する。  
**問**／まちなか回遊を促すための取組はどうか。  
**答**／直江津の魅力が伝わるようなガイドマップの作成やロゴをいかした誘導サインの掲示、インフォメーションセンターの設置などを行う。

**食育・地産地消の推進を**

**問**／学校給食において、地産地消を一層推進すべきではないか。

**答**／学校給食における野菜の地元産使用率は13・3%であり、目標に及んでいない。関係団体と協力し、生産者を募り、納入業者及び青果市場と連携し、使用率向上に努めていきたい。



大雪対策の総括を行い、  
総合的な雪対策を  
橋爪 法一（日本共産党議員団）



**問**／昨冬の大雪対策の総括について、現在までの到達点、終了時期の見込み、結果の公表時期を聞きたい。

**答**／検証チームを結成し、全庁挙げて作業を進めている。7月上旬を目途に中間報告として冊子にまとめ、その後、関係機関と共に更なる検討を重ねた上で、10月下旬に最終の報告書としてお示ししたい。

**問**／総括はどういう基本的な視点で作業を進めているか。

**答**／あくまでも今後の大雪に備え、市民生活が通常どおり営まれるようにという視点だ。今回は市民や事業所に対する備えとして一定程度の提言をまとめる。

**問**／昨冬のような大雪は今後も起こり得るといふ捉え方が大切だ。県では豪雪地帯対策特別措置法に基づき、総合的な雪対策の計画を立てている。市でも、ちゃんと、まともな生活ができる対策を総合的に立てるべきではないか。  
**答**／計画を策定するチームではない。検証により、大雪で市民生活に支障が出ないようしていきたい。





平長木 哲也（日本共産党議員団）

### 指定避難所の想定は十分か



**問**／指定避難所への避難者数や備蓄品の必要量の想定、初動対応職員の配置は十分か。

**答**／避難者数は防災アセスメント調査結果に基づき、人口の10・6%と想定し、11・2%に当たる約2万1千人の避難者受入れが可能である。

**問**／東日本大震災での仙台市の例では、区によっては16%の人が避難したという。こうした最大の避難者数を想定すべきではないか。

**答**／高田平野西縁断層を震源とする地震を想定しているので、高田地区で避難者が集中するとは思わない。それを想定して避難所や備蓄品を用意すればいいのであろうが、そこに集めておくのは非現実的なので、市内1・2・7か所の避難所に分散配置している。

**問**／避難所の一人当たりのスペースは、新型コロナウイルス感染症防止のために広がったが、十分な面積が用意されていない避難所はないか。

こうしたことに関しては、最悪の事態を常に考えて臨んでいただきたい。

**答**／十分な施設がないところもあるが、可能な限り収容できる施設を避難所に選定している。

避難所運営マニュアルには、もし想定以上の避難者がおられた場合には、近隣の施設を使う可能性があることを承知してほしいという一文もあり、その時点において可能な限り避難者に対応するよう想定している。



宮越 馨（無所属）

### 上越市政2大課題へのチャレンジを！



**問**／政府の「こども庁」創設に見る「こどもまんなか」の政策こそ時宜を得たものではないか。

**答**／現時点では詳細が不明であるため、政府の動向を注視し情報収集に努める。

**問**／今こそ私が提唱する「子供年金」制度を実施するチャンスである。これに先立つニーズ調査は直ちに実施すべきと考えるが、どうか。

**答**／国県の支援が見通せない中、市の財源負担が大きくなるため、ニーズ調査は実施しない。

**問**／少子化は国も地方も減ばす危機的要因だ。再び「子育てするなら上越市」のスローガンの下、「子供年金」制度の実現は喫緊の課題だ。

**答**／上越市子ども・子育て支援総合計画に基づき、各種施策を引き続き推進していく。

**問**／市町村大合併から16年経過したが、いまだ合併のしこりが激しく残る（中郷村の合併など）。合併の理念とビジョンはどうであったのか。

**答**／任意の合併協議会を経て、法定の合併協議会に至る過程で関係自治体の意向を踏まえ、自主自立のまちづくりを理念とした合併であった。

**問**／大合併のあらゆる不都合を解消するために、新たなガバナンス（行政統治）の在り方として、ブロック制（頸北・東頸・名立・中郷）を導入し、副市長の下で行政統治すべきではないか。

**答**／自主自立の理念に立ち地域自治区を設置し、様々な行政需要に対応している。

## 議員勉強会を開催

上越市議会では、議会としての政策立案と政策提言能力の向上、そして議員としての能力向上を図るため、定期的に勉強会を開催しています。勉強会の開催に当たっては、広く各分野の専門家を招き、知識や知見を取り入れた勉強会を実施しています。



令和3年4月には、長年にわたり教育や文化財の保護など多方面にわたってご尽力されている、植木宏先生を講師にお招きし、春日山城跡を中心とした支城群について学びました。



令和3年5月には、公益財団法人 新潟県女性財団 大島煦美子顧問を講師にお招きし、男女共同参画社会の形成について学びました。

# 議会報告会・意見交換会を開催

## 市民の皆さんのご意見をいかします



市議会では、5月9日から13日にかけて、春日区・安塚区・柿崎区・板倉区の4会場で、議会報告会・意見交換会を開催しました。

前半の議会報告会では、議員がプロジェクターを使って、議会の取組や定例会中の委員会審査の内容を説明し、後半の意見交換会では、市民の皆さんと様々な内容について意見交換を行いました。意見交換会でいただいた50項目のご意見のうち、一部をご紹介します。

- ・ 上越市のふるさと納税の返礼品について、市の第3セクターの利用券だけでなく市全体で使える商品券なども考えてほしい。
- ・ GIGAスクール構想について、タブレットが導入されたが、現場の教師がそれに対応できる余裕があるのか。十分な研修等、支援体制を考えてほしい。
- ・ 地域協議会制度の見直しをしてほしい。旧町村にこだわり過ぎており、今の制度のままでは市民の一体感が生まれにくい。委員を年に数回、一同に会して勉強会をするなどしてはどうか。地域ごとや会長だけ集まって開催しても、本当のまちづくりにはならない。
- ・ 聴覚に障害のある方への対応について、コロナ禍で常にマスクを着用するようになっていたため、会話の際に口元が見えず何を言っているのか分からない。公の場では何とか対応できないものかと思う。
- ・ 市街地の特に住宅街では、除雪ができず大変そうだったが、もしコミュニケーションがとれていれば、除雪機を持っている中山間地域の我々が除雪の応援に行けたかもしれない。今後、地域を超えた連携のサポート体制を作ってほしいと考える。
- ・ 13区に人を集めて農業をしてもらうには、魅力よりも平場での農業より収入を得られるかどうかが大切だと考える。労力の低減はもちろん、収入を上げる政策を考えてほしい。



その他いただいたご意見や上記ご意見を含め、当日の回答等は、全て市議会ホームページに掲載しています。ホームページは、「上越市議会 意見交換会」で検索いただくか、右のQRコードからご覧ください。



## 議員表彰

6月21日の本会議に先立ち、全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から永年在職議員（在職20年以上）の功績として、上野公悦議員に表彰状が贈られました。

また、全国市議会議長会から、飯塚義隆議長に議長会評議員としての功績に対する感謝状が贈られました。



飯塚義隆議長



上野公悦議員

# 本会議や委員会の傍聴にお越しく下さい！

## ◆傍聴に来られた方の感想◆

- ・初めて傍聴し、懸案課題が多く、調整の難しさを感じ取ることができた。今後も市政に関心を持ち、一人の市民として関わっていきたい。
- ・情報が簡単に入ってくる時代でありながら、知らないことを多く知ることができた。
- ・初めて傍聴したが、とても有意義だった。市政の具体的な内容がよく分かった。
- ・市民目線での質問が良かった。
- ・興味のある議題だったが、知らないことも多く、一日中聞いていたいと思った。

## 9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/29	8/30	8/31	9/1	2	3	4
			本会議 総括質疑等		厚生 常任委員会	
5	6	7	8	9	10	11
	厚生 常任委員会	農政建設 常任委員会		文教経済 常任委員会		
12	13	14	15	16	17	18
	総務 常任委員会			本会議 一般質問		
19	20	21	22	23	24	25
		本会議 一般質問				
26	27	28	29	30	10/1	10/2
	本会議 採決等					

※この日程は、諸会議等により変更となる場合があります。正式には8月下旬に改めて決定し、市議会ホームページ等でご案内します。(市議会ホームページの見方は下記のとおりです。)

## 本会議や各委員会をインターネットでご覧いただけます!!

◆本会議の議会生中継及び録画中継は、ホームページの「本会議の放送」より、各委員会の生放送と録画放送は、ホームページの「委員会の放送」よりご覧ください。

※市議会ホームページは、「上越市議会」で検索いただくか、右のQRコードをスマートフォン等で読み取ることでご覧いただけます。



### Facebook 配信中!

本会議や委員会の開催など市議会の情報を発信しています。皆様からの「いいね!」をお待ちしております。



### 広報広聴委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

- ◎池田 尚江      ○宮越 馨      安田 佳世
- 鈴木めぐみ      ストラットン恵美子      高橋 浩輔
- 宮崎 朋子      山田 忠晴      牧田 正樹
- 平良木哲也      飯塚 義隆

### 編集後記

志半ばに旅立たれた田中前委員長の想いを胸に、私たち広報広聴委員は、市民に開かれた議会、情報が発信される議会を目指し、市民の皆様の目に留まる「かけはし」を今後も作成し、お届けしてまいります。6月議会を中心とした本誌をご覧いただきありがとうございました。

広報広聴委員会 山田 忠晴

次号は、令和3年10月25日発行です。

2021.8 じょうえつ市議会だより (20)

